2008年6月12日

各　位

積水化成品工業株式会社

「ピーセル」(高密度ポリエチレン発泡シート)の上市について

<要約>

積水化成品工業(株)では、低温度領域での包装・物流用途向けに以前より開発していた高密度ポリエチレン発泡シート、製品名「ピーセル」を平成20年3月より本格的に上市しました。

1. 開発背景

最近の食品包装業界では、冷凍食品向けの包装材料が伸びを見せていますが、“食の安全・安心”という側面から、従来メインで使用されている「ポリプロピレンシート」や「耐寒ポリスチレンシート」という素材では、冷凍状態等の低温度領域での破損・割れ等が懸念されていました。

そこで、低温度領域でも割れにくく、また、仮に割れた場合でも破砕片が発生しない高密度ポリエチレン材料に着目し、これを発泡させることにより更に緩衝性と断熱性を付加したシートの開発を進めてきました。

「ピーセル」は、消費者に対する“食の安全・安心”に寄与できる新しい包装材料です。

2. 「ピーセル」の特長

①低温度領域において、柔軟性に富んでおり耐衝撃性に優れています。
（割れた場合においても破砕片が発生しません。）
②耐油性、耐薬品性に優れています。
③透湿性が低く、耐水性に優れています。
④熱成形性が良好です。
⑤発泡体ですので断熱性があります。
⑥印刷フィルムとのラミネート加工も可能です。
⑦独特の風合いがあります。
⑧バリアーフィルムとのラミネートによりバリアー性能を付加する事も可能です。
（防湿性・酸素バリアー性等）

※詳しくはお問い合わせ下さい。

3. 他樹脂との比較

	耐寒衝撃性	耐油温度	透湿性
「ピーセル」	**-40℃**	**110℃**	**低い**
耐寒ポリスチレン	5℃	80℃	高い
ポリプロピレン	0℃	130℃	低い

※表中の数値は、当社での測定によって得られた数値であり、保証値ではありません。

4. 「ピーセル」のスペック

①坪量	200～400g/m²
②原反一次厚み	0.50～1.00mm
③原反幅	720mmと1,040mm の2種類
④原反ロール巻き長さ	100～200m

5. 用途

【現在、注力している用途】

◇バリアー性真空冷凍用容器

- 魚介類等の水産加工品の冷凍保存用容器に適しています。
- 冷凍保管時及び運搬時に容器が割れにくく、割れた場合でも破砕片が発生しませんので、“食の安全・安心”に応えられます。
- バリアー性（防湿性・ガスバリアー性等）を付加しており、保管時や輸送時の品質維持ができます。

【具体的な実施用途例】

☆株式会社ダイエー様向け『「鮭の真空冷凍パック」用台紙』

　ＭＵＬＴＩＶＡＣ機の販売代理店である中村産業株式会社を通じて、北海道釧路市の株式会社コストデザイン様に納品。同社にて『「鮭の真空冷凍パック」用台紙』として使用後、株式会社ダイエー様に納入されています。

　ピーセルを使用した最終製品は、新鮮な鮭を「ピーセル/バリアーフィルム」の台紙と、同じくハイバリアー性能のＣＲＹＯＶＡＣ社製のトップフィルムとの間に包み込んでいます。

　この「鮭の真空冷凍パック」は、両面にハイバリアーフィルムを使用することにより、

- 防湿性・酸素バリアー性・保香性・耐ピンホール性があります。
- 酸化防止剤を使用しなくても変色を防ぐことができます。
- 冷凍保管中においても品質の低下が防げます。
- 解凍後の賞味期限が、従来からメインであるラップ包装に比べて大幅に伸びます。
- 賞味期限が延びる事により、小売店での食品の廃棄ロスが少なくなります。

以上のような、特長を持っています。

　ピーセルは、その耐寒性と従来のプラスチックにない独特の風合いが、評価され採用されました。

【上記以外に開発を進めている用途】

◇冷凍食品用容器

- 業務用等で冷凍保管、運搬する冷凍食品用に適しています。
- ポリエチレン独特のしなやかさがあり、内容物の取り外し時の割れが少なく、破砕片が発生しません。
- 通いトレーとしての利用に適しています。

◇チルド食品用容器

●従来のプラスチックにない風合いがあります。

●内容物によっては、レンジアップも可能です。

◇緩衝性、断熱性を活かした用途

●工業用、雑貨用途として、緩衝性を活かした合紙・養生シート等に使用できます。

●やわらかいので、凹凸面にフィットしやすく使い易い。

●各種フィルムとのラミネートも可能です。

6.販売計画

2008年度　約1億円/年　→　2009年度　約2億円/年

7.今後の事業展開

①バリアー性真空冷凍用容器の用途開発を更に進めていきます。

②各種のフィルムとラミネートし、機能性の高い複合品を上市します。

③他素材シートとのラミネートにより、剛性アップをはかり、深物成形品を上市します。

④柔軟性を活かして、非食品分野、特に工業用途（緩衝紙・合紙・養生シート等）への展開をはかります。

【備考】

◇中村産業株式会社

本　　社：千葉県松戸市松戸 2302−9　TE：047-366-0123

仙台支店：仙台市若林区伊在字白山前 45

札幌支店：札幌市西区琴似 2 条 2 丁目 3-12-207

（設　立）　昭和 35 年 3 月 1 日

（資本金）　9,000 万円

（代表者）　中村　剛太郎

（年　商）　20 億 5 千万円（平成 18 年 2 月期）
　　　　　　22 億 5 千万円（平成 19 年 2 月期）
　　　　　　24 億 5 千万円（平成 20 年 2 月期）

（決算期）　2 月末日

（社員数）　28 名

（事業内容）真空包装機及び包装資材の販売、食品製造加工機の輸入販売。

【お問い合わせ先】

○〒530-8565　大阪市北区西天満2-4-4（堂島関電ビル7階）

積水化成品工業株式会社　総務部　広報担当　河村健作

TEL：06-6365-3013　FAX：06-6365-3114　ホームページアドレス：http://www.sekisuiplastics.co.jp

○〒271-0092　千葉県松戸市松戸2302−9

中村産業株式会社　営業部　安野卓也

TEL：047-366-0123　FAX：047-365-7717　ホームページアドレス：http://www.nasco-jp.com

以上